

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成29年6月8日 (2017.6.8)

【公開番号】特開2016-172162(P2016-172162A)
 【公開日】平成28年9月29日 (2016.9.29)
 【年通号数】公開・登録公報2016-057
 【出願番号】特願2016-134645(P2016-134645)
 【国際特許分類】

A 6 3 H 3/46 (2006.01)

【F I】

A 6 3 H 3/46 B

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月24日 (2017.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回動軸部を有する第 1 部分と、

前記回動軸部が挿入され、挿入された前記回動軸部を回動可能に且つ軸方向に移動可能に支持する軸支持部を有し、前記第 1 部分に対して相対回動可能に連結される第 2 部分と、

を備え、

前記第 1 部分には凸部が設けられ、前記第 2 部分には前記回動軸部が前記軸支持部に挿入されるのに伴い前記凸部と嵌合して前記第 2 部分の相対回動を規制する凹部が設けられており、

前記凸部は、前記回動軸部の基端部に設けられ、前記回動軸部の中心軸まわりに回転対称な多角形に形成されており、

前記凹部は、前記軸支持部の開口縁部に設けられ、前記凸部と同一な多角形に形成されている模型。

【請求項 2】

請求項 1 記載の模型であって、

前記凸部の角部は、面取りされ、又は丸められている模型。

【請求項 3】

請求項 2 記載の模型であって、

前記凸部及び前記凹部の角数は 4 以上 6 以下である模型。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る模型は、回動軸部を有する第 1 部分と、前記回動軸部が挿入され、挿入された前記回動軸部を回動可能に且つ軸方向に移動可能に支持する軸支持部を有し、前記第 1 部分に対して相対回動可能に連結される第 2 部分と、を備え、前記第 1 部分及び前記第

2部分のうち、いずれか一方には凸部が設けられ、他方には前記回動軸部が前記軸支持部に挿入されるのに伴い前記凸部と嵌合して前記第2部分の相対回動を規制する凹部が設けられており、前記回動軸部及び前記軸支持部には、互いに係合し、前記凸部が前記凹部に嵌合する第1位置と前記凸部が前記凹部から脱する第2位置との間で該回動軸部の軸方向の移動を規制する係止部がそれぞれ設けられていることを特徴とする。また、本発明に係る模型は、回動軸部を有する第1部分と、前記回動軸部が挿入され、挿入された前記回動軸部を回動可能に且つ軸方向に移動可能に支持する軸支持部を有し、前記第1部分に対して相対回動可能に連結される第2部分と、を備え、前記第1部分には凸部が設けられ、前記第2部分には前記回動軸部が前記軸支持部に挿入されるのに伴い前記凸部と嵌合して前記第2部分の相対回動を規制する凹部が設けられており、前記凸部は、前記回動軸部の基端部に設けられ、前記回動軸部の中心軸まわりに回転対称な多角形に形成されており、前記凹部は、前記軸支持部の開口縁部に設けられ、前記凸部と同一な多角形に形成されていることを特徴とする。

—